

としょかんだより

【下條村立図書館 133号 2018年3月15日発行】

もうすぐ春！ちょっと忙しいけれど、楽しいうれしい出会いと始まりの時。新しい何かが動き出すとき。この春も、図書館には宝もののような出会いが待っているかもしれません。それは、本との出会い、人との出会い、新しい自分との出会い…さまざまです！どうぞお出かけください。

としょかん大好き家族 Part108

古田さんご一家

北平 ^{みやざ}（宮澤）

土曜日、お母さんが3人の子どもたちを連れて図書館にやってくるのは、古田さんご一家。

結花（ゆうか）ちゃん（1年生・7歳）は、本が大好き！弟や妹に絵本を選んであげたり、読んであげる姿をよく見かけます。ある土曜日、結花ちゃんが舞香ちゃんに絵本の読み聞かせをしているところを発見！「図書館ボランティアに入らない？」と声をかけると「いいよ！」という返事が返ってきて、1年生ながら図書館ボランティアのメンバーに入ることになりました。「絵本も紙芝居も読んでみたい。お仕事何でも手伝いたい。すごく楽しそう！」とやる気満々！

年中さんのころから絵本を自分で読んでいたという結花ちゃん、家で弟や妹がぐざっている時は、おひざにだっこして絵本を読んであげるそうです。

今は、お料理の出てくるお話『ルルとララ』シリーズ（あんびるやすこ作・絵）がお気に入り。家ではお母さんと一緒に、本に載っているレシピでケーキやクッキーを作ったりします。「本は、じっくり何回も読むのが好き。楽しくってワクワクする！」そうです。

長男の統真（とうま）くん（年少組・4歳）は、動物や昆虫の図鑑などを自分で選んで借りて、繰り返し読んでもらいます。「図鑑の読み聞かせは、終わりがいいからたいへん…」と奈緒美さん。

次女の舞花ちゃん（1歳）はまだ1歳だけど、こぐまちゃん（2歳の子どものモデル）の絵本がお気に入り。何回も読んだのは『こぐまちゃんのどろあそび』（わかやまけん絵）です。

お母さんの奈緒美さんは、小学校時代「全校でいちばん多く本を借りた」ことで表彰されたことがあるくらい…図書館も本も大好き！「今は、借りたいけど読めないから借りれない」日々。

もくじ

- 1p：としょかん大好き家族
- 2p：下條村の本ご紹介
- 3p：新年度のおたのしみ会
- 4p：新刊ぴっくあっぷ

家での絵本タイムは、寝る前にお布団に入り…癒しのひと時。子どもたちはそれぞれ好きな絵本を持って、おばあちゃんかお母さんのところへ行き読んでもらったらそのまま眠ります。結花ちゃんいわく、「読み方いっしょ！ゼーんぶ一緒！でも両方おもしろい！」。



下條村の本をご紹介します！

図書館には、①飯田・下伊那及び県内の郷土資料コーナー(奥の畳)と、②下條村の本(資料)コーナー(窓側閲覧机よこ)の、2つの郷土資料コーナーがあります。そこには村内の方が著した本、地域や団体で出版した冊子などが(長野県郷土資料分類にそって)並んでいます。

下條村に生まれ生涯を送り、さまざまな功績を残された方の伝記。村民の生活に寄り添い、村の発展を支えてこられた先人の生き方や想いなど、実質的な姿が詰まっています。

どうぞ手に取り、ご覧ください。もちろん貸し出しもできます！また、こうした郷土資料を寄贈したいという方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。

写真上段左から

- ◆ マー坊の育つころ 山の子どもたち」
マー坊こと宮島正司著 1998
著者(入野・親村隠居)が子どもの頃の生活、遊び、家族の姿が当時の時代背景の中でいきいきと語られる。小・中学生や子育て世代の親へもおすすめ。続編もあり。
- ◆ 小倉百人一首 その解釈と鑑賞」
(日報新書) 宮島正司著 2006.5
- ◆ 万葉の心」 宮島正司著 2003.5
以上、信州日報新聞社刊
- ◆ 真理に生きる」 実原公男遺稿集刊行
委員会編 南信州新聞社 2004.10



写真下段左より

- ◆ あい子のあしあと 平栗あい子自伝」 平栗あい子著 2001.10
「私の生きてきた道」 小木曾久子著 2002.11
昭和 12(1937)年、小木曾勲氏と結婚し山田河内に住む。4 人の子を産み育てながら保健師の資格を取得。下條村の母子センター勤務時代、飯田助産院開院等の業績などが綴られ、地域における助産婦業の歴史をかいま見ることができる。
- ◆ 「父の笑顔 今に生きる伯市」 「父の笑顔」編集委員会編 1998.11
故代田伯市(はくいち)氏(粒一北・豊島屋)の十三回忌を機に文集作りを計画、集まった原稿を本にしたもの。巻末に代田家の家系図、伯市翁の生まれた飯島家(相田・松野屋)他親戚のこと、年表、古文書など詳細な資料あり。
以上、南信州新聞社刊

下條村を知る 伊那谷を知る 方言についての本

飯田・下伊那弁についてならこの2冊！郷土資料コーナーにあります。

- 『飯田・下伊那の方言 改訂版』 金田房雄編 平成 19 年度在京飯田高校同窓会編 2007. 11
- 『対話に役立つ 飯田下伊那の方言集』 飯田女子短期大学看護と方言を考える会編 2002. 8
- 下條村の方言ならこの本！『下條村制 100 周年記念誌 語りつぐふる里』 1989. 12

下條村で「読書(文学)に関する勉強会」を行っているグループのご紹介です

会の名前	場所	定例日時	会員数
■ みふぐし(万葉の)会	村民センター	第3火 13:30～	11人
■ 古文書を読む会	村民センター	第1水 13:30～	11人
■ 下條短歌会	村民センター	第3木等 13:30～	7人
■ みすず下條俳句会	中村喜子さん宅	第2月等 13:30～	3人

(明地原・広畑)

宮島正司先生と入登山神社入口の歌碑について

故宮島正司先生から万葉集の歌を学ぶために開かれた勉強会が、かつて飯田・下伊那に7教室ありました。下條村には2教室ありましたが、現在は「みふぐし会」だけが活動を続けています。入登山神社には、宮島先生の詠まれた短歌が刻まれた石碑が建っています。各地区の勉強会で学んだ方々の協力もあり、平成16(2004)年に氏子総代が建立した歌碑です。

「やま並を遶(めぐ)らす谿(たに)の秋ふかく南信濃の空澄みわたる」

(『伊那谷の文学碑』ふるさと文学碑研究会編 南新聞新聞出版局 2005.9より)

みふぐし会は現在、宮島先生の後継として下條修雄先生(山一西・西)がご指導されています。

中学校に、翔子さんの書が飾られました！



11月14日(火)、書家の金澤翔子さんと、その母親泰子さん親子を講師に迎え、下條中学校で人権教育講演会が開催されました。泰子さんによる講演の前に、翔子さんのパフォーマンスが行われ、広い体育館で大勢の観客(聴衆)が見守るなか、「共に生きる」の文字を、翔子さんは力強く書き上げました。その書(作品)が、このたび表装され下條中学校玄関に飾られました。卒業式、参観日、文化祭等で中学校に来られる機会に、ぜひご覧ください。

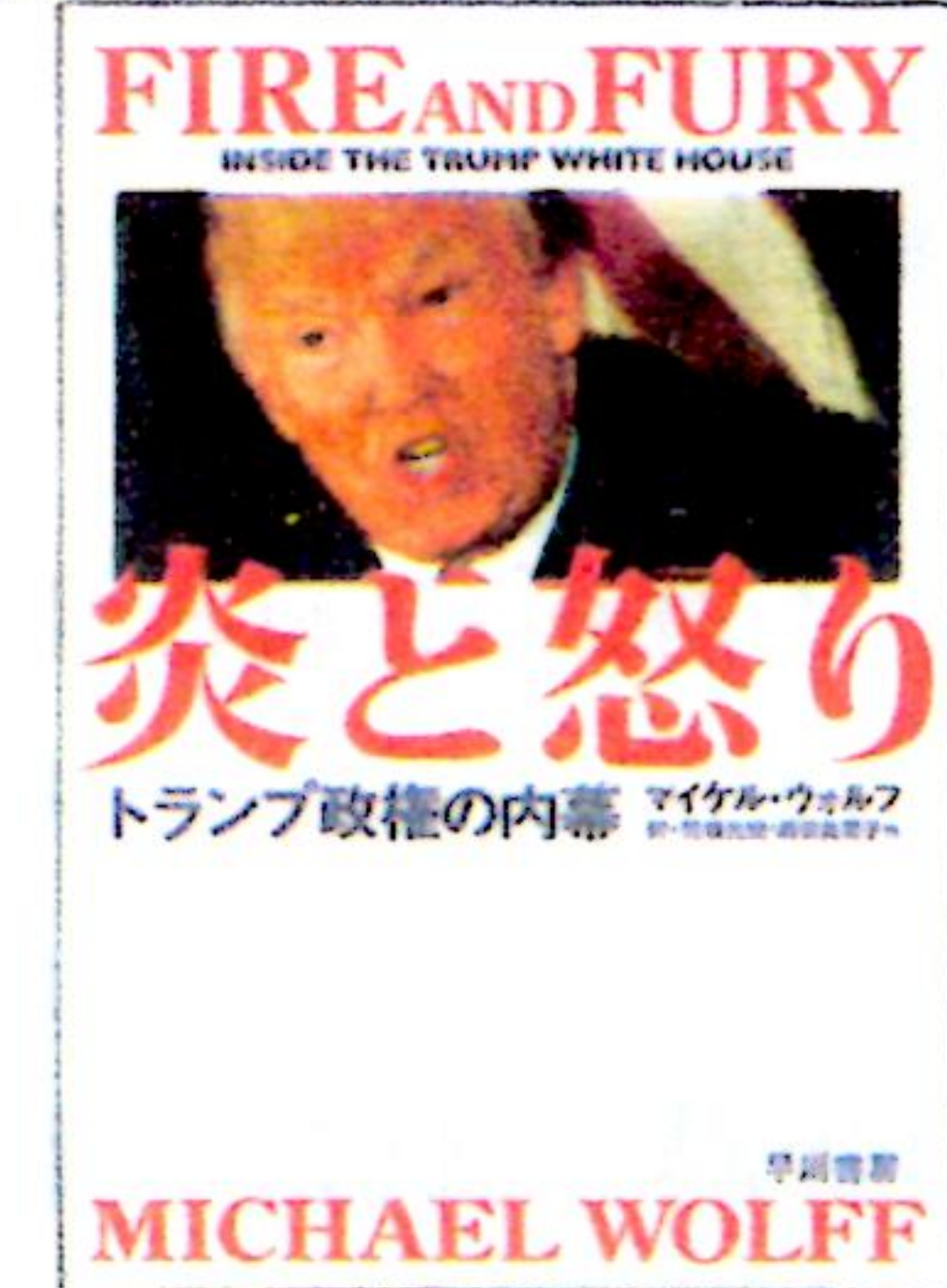
また図書館でも、金澤翔子さんに関する本を多数所蔵しています。ぜひご利用ください。



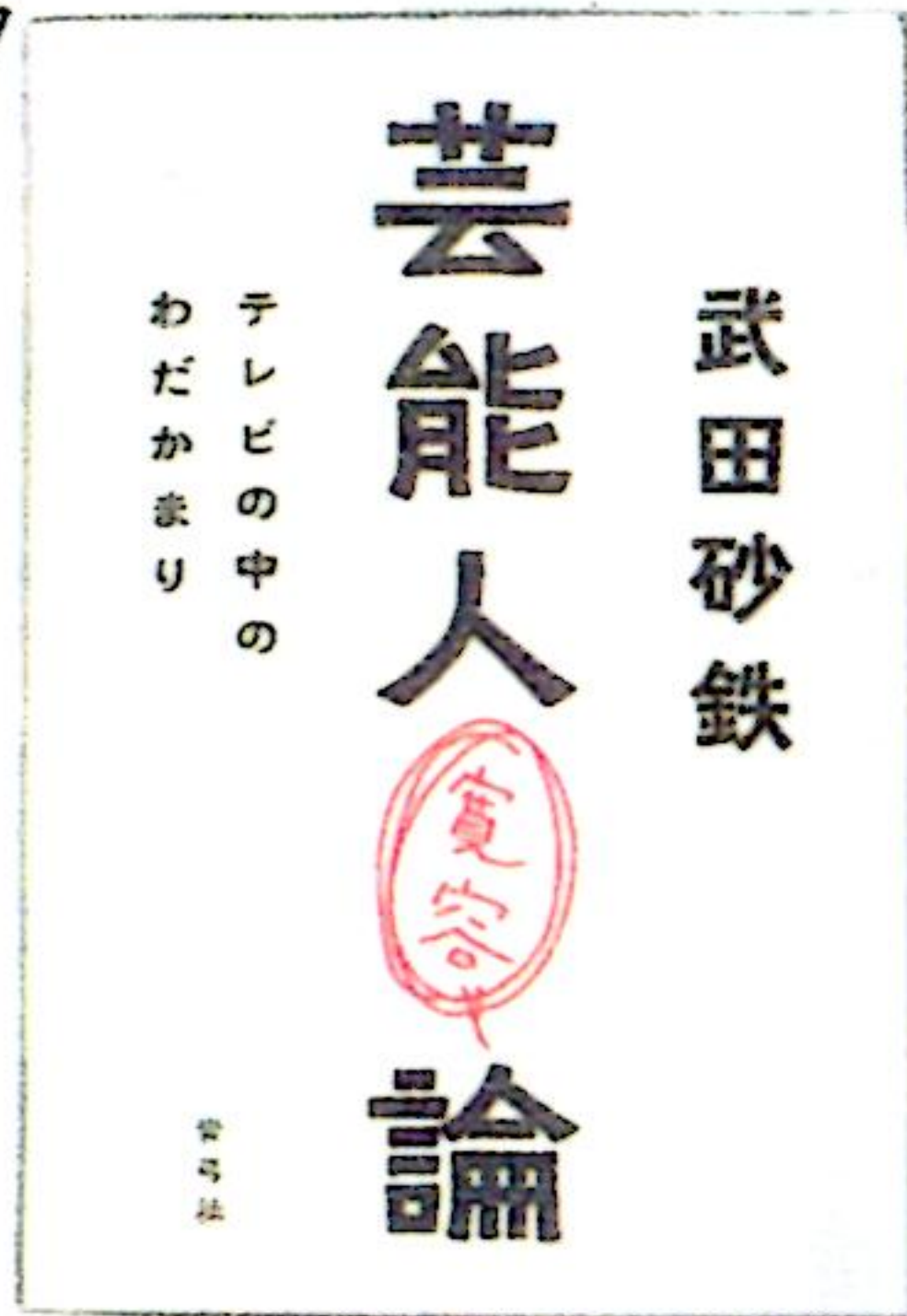
新刊 ぴっく あっぷ



「祝葬」久坂部羊作 講談社／自分の死を暗示するような謎の言葉を遺し、37歳の若さで死んだ医師・土岐佑介。彼は生前、代々信州を地盤とする医師の家系である自分たち一族には「早死にの呪い」がかけられていると語り…。*F



「炎と怒り トランプ政権の内幕」 マイケル・ウォルフ
著 早川書房／2017年1月の就任以来、世界を
振り回してきた米トランプ大統領。1年半にわたる
200件以上の関係者取材をもとに、驚くほど政策
を知らない大統領の姿と、政権の知られざる内
情を描き出す。*312ウ



「芸能人寛容論 テレビの中のわだかまり」 武田砂鉄著 青弓社／「ファシズム化する石原さとみの唇」「池上彰依存社会」…。テレビを見ていて感じた芸能人へのわだかまりを可視化し、精一杯受け止める。*770夕



「世界一幸せな子どもに親がしていること」 リナ・マエ・アコスタ他著 日経BP社／2013年のユニセフ調査でオランダの子どもは「世界で一番幸せな子ども」であると発表された。その秘密は何か？ 塾通いも習い事もしないのにかしこく育ち、子どもを幸せにするオランダメソッドを伝える。*599ア



「小説ちはやふる」有沢ゆう希著 講談社／
綾瀬千早は高校入学と同時に、競技かるた部を
作ろうと奔走する。幼馴染の太一と仲間を集め、
夏の全国大会に出場し、幼い頃にかかるたを取り
合った、新と再会するために…。映画「ペライズ」。
*YBFア



「おかげさまで、注文の多い笹餅屋です
 笹採りも製粉もこしあんも。年5万個をひとりで作
 る90歳の人生」 桑田ミサオ著 小学館／75歳で
 笹餅屋を起業し、90歳を過ぎた今も活躍する津
 軽の名物おばあちゃんが、60歳で本格的な餅作
 りを始めてからのこと、これまでの人生を語る。レ
 ビも掲載。*289ク 



「五街道ウォークのすすめ 健康が歩いてやってくる!」八木牧夫著 山と溪谷社／五街道は最高のウォーキング・フィールド。20年間歩き続け各街道を何往復もした著者が、ウェアや持ち物、歩きのテクニック、計画の立て方、お薦めコース等を紹介。*291ヤ



「お悩み別オトナ女子のための漢方手帖
便秘・むくみ・イライラ・冷えは、効かせる漢方で
スッキリ解消」 蔭山充著 主婦の友インフォス／漢
方で、つらい症状から抜け出そう。ベテラン漢方
専門医が、女性を悩ませる症状の解消法を紹介
します。漢方医学の基礎知識、特に女性に重要
な「血・水・気」もわかりやすく解説。*495カ



「定年オヤジ改造計画」 垣谷美雨著 祥
伝社／夢にまで見た定年生活。しかし、妻は
「夫源病」を患い、娘からは「アンタ」呼ばわり。
そんなある日、息子夫婦から孫2人の保育園の
お迎えを頼まれ…。崖っぷち定年オヤジ、人
生初の子守を通じて離婚回避&家族再生に
挑む！*Fカ



「人間の未来 AIの未来」 山中伸弥 羽生善治著 講談社／先端医療がすべての病気に勝つ日は来るのか。なぜ棋士は人工知能に負けたのか。どうすれば日本は人材大国になれるのか。ノーベル賞科学者と史上最強棋士が「10年後、100年後の世界」を予言する。

*491ヤ



「Lily 日々のカケラ」石田ゆり子著 文藝春秋／女優・石田ゆり子が大好きなもの、日々の暮らしを自身のエッセイと撮り下ろし写真で紹介する。ロングインタビュー、103のQ&Aも収録。
*778イ



「便秘解消の毎日ごはん 食べてすっきり、おなかにやさしい」 女子栄養大学出版部／便秘のしくみや解消法をイラストでわかりやすく説明し、便秘解消につながる、食物繊維たっぷりで栄養バランスもよい献立や、作りおきおかず、主菜、汁物、おやつ等のレシピを紹介。*493へ